

## 事例名：Recopick®を活用した予約棚管理

ユーザ名：中央区立図書館様

### システム概要

- ・HF帯と比較して導入コストと読み取り性能に優れたUHF帯RFIDのRecopick®を採用
- ・予約棚として利用者サービスの向上や業務の効率化を実現

### システム 設置 イメージ



### お客様 の声



中央区教育委員会事務局  
図書館文化財課  
(京橋図書館) 管理係  
鈴木 俊一氏

「予約棚コーナーの出入口には不正持ち出し対策としてUHF帯のゲートを設置しました。スペースの関係で予約棚に近い位置にゲートを設けざるを得なかったのですが、電波干渉を受けることなく機能しています」

中央区教育委員会事務局  
図書文化財課図書館  
サービス係  
坂本 飛鳥氏



「UHF帯は大量のICタグを一度に処理する事が可能ですが、電波が飛びすぎるため、狭い書棚での活用には不向きというイメージを持っていたので、Recopick®の電波制御技術の高さには驚きました」

## システムの特長

- ・狭い書棚に置かれた大量の本(ICタグ)を実運用内で一度に正確に処理可能
- ・UHF帯のデメリットである電波が飛びすぎる点をクリアしたRecopick®の電波制御技術の高さ
- ・HF帯では棚ごとにアンテナを複数設置する必要があり予約棚スペースを圧迫するが、シート状のアンテナを棚面に敷くRecopick®なら、書庫内のデッドスペースは極わずか

## 導入の背景

- ・中央区の京橋図書館様では周辺にオフィスが多いという土地柄、窓口には貸出手続きのための列ができていた
- ・予約本の状況についてもリアルタイムな把握が難しく、予約された本がキャンセルで棚のスペースが足りなくなっていた

## 課題

- ・利用者が昼休みの時間に集中し、貸出手続きのための列ができていた
- ・予約キャンセルとその把握にタイムラグがあり、キャンセル本が予約棚のスペースを圧迫していた
- ・図書館で実績の少ないUHF帯ICタグで正確に読み取りができるか不安

## 課題の解決

- ・予約貸出セルフ化による待ち時間の解消、管理の手間が軽減
- ・利用者のサービス向上や、プライバシー保護強化
- ・Recopick®は電波干渉が少なく、予約棚近くにゲートを設置

## 解決の効果

- ・セルフ化により窓口の列がゼロに(貸出の自動化)
- ・予約本の管理業務も大幅に簡素化
- ・取り置きを知らせるメールや手続きの簡素化で利用者にメリットがある図書館へ

## 今後の展開

国内の図書館を中心に拡販中

## 導入実績

中央区立図書館	京橋図書館	名城大学
中央区立図書館	日本橋図書館	千葉大学
中央区立図書館	月島図書館	ほか

## 参考URL

<https://www.teijin.co.jp/focus/recopick/casestudy/reservation/>

## お問い合わせ先

帝人株式会社  
スマートセンシング事業推進班  
03-3506-4942

<https://www.teijin.co.jp/focus/recopick/>